

# 『時事直言』 No.1483 2021年8月19日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](https://www.youtube.com/channel/UC...)



時事評論家 増田俊男

## 異常事態に陥った日本

日本の株価はNYが上がっても下がっても下がる事しか知らない。  
日銀は、何を考えているのかわからないが、一切介入しない。  
日本の金融の頂点に立つ日銀は日本の金融市場を見捨てたのか。  
もし今日19日に日銀の介入が無ければ、日銀は許されない、とは言え日銀に制裁を掛けられる者はいない。

菅内閣の新型コロナ対策は世界に例を見ないほどの、無能、無為、無策。  
コロナ感染者の自宅療養とは殺人行為に等しい。  
自宅と言っても千差万別。  
およそ介護など出来る環境にない自宅も多くある。  
自宅では何時重病になるか、又重病かどうか判断も出来ない。  
そんな自宅への病人放置を勧めているのが菅内閣である。  
こんな無責任と言うより国民の死を促進している国は世界にない。  
アメリカでコロナ感染が爆発的に広がった時、ニューヨーク市では感染者すべてに(自宅ではなく)専門医が検査、治療を施すことの必要性からセントラルパークに何百ものテントを張って臨時病棟を造り、医学生まで動員して徹底した対策を行った。  
やる気があれば日本の何処でも出来る事なのに政府は(多分意図的に)一切やらない。  
私は日本のコロナ禍は菅内閣による人災であると断言したい。  
国民の生命の為に予期せぬことにまでも準備を怠らないのが政治の常道である。  
菅内閣はコロナ第四波、第五波が来ることを予期していたにも関わらず対策を怠り、その結果がこの様である。  
首相が辞任して済むことではない。  
まるで敵が攻めて来るのが分かっているながら、門を開いて敵を歓迎する行為は家族の犠牲を願っているようなものだ。  
菅内閣の対コロナ無為無策は国民の生命に対する冒瀆である。  
緊急事態宣言乱発しか能のない菅総理にはさっさと辞めて頂き、独裁者に次の首相になってもらうしかない。  
もはや独裁者以外に日本の政治を正すことは出来なくなった。

“Japanese stocks are the last to buy”と言われている。

「日本株だけは最後の最後まで買えない」。

これが世界から見た日本である。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。